

御食国アカデミー特別編 feat. 松永六感

令和2年2月28日（金）13:00～
@明通寺

地方創生の鍵は足元にある。

地域外の視点から見た、海だけではない、若狭の新たな魅力の再発見。

2019年12月発売の雑誌「自遊人」最新号で小浜の「へしこ」の魅力について語り合った岩佐十良氏（「自遊人」編集長）と中東篤志氏（One Rice One Soup Inc.）。今回はその2人をお招きし、若狭の新たな観光の可能性を探ります。コーディネータは、農林水産省を退職して小浜へ移住した御子柴北斗（まちづくり小浜／おばま観光局）。

かつて日本海側の大陸文化の玄関口であった小浜には、今でも多くの優れた寺社仏閣があり、自然の恵みに感謝する伝統行事が息づいています。

キーワードは「寺社仏閣」「伝統行事」「観光」「農業」「精進料理」。

これらにピンと来た方、ぜひお越しください！



岩佐十良

（株）自遊人代表取締役。池袋出身。クリエイティブディレクター、雑誌「自遊人」の編集長。宿泊施設「里山十帖」をはじめ、ものの本質を伝える「リアルメディア」に取り組む。



中東篤志

One Rice One Soup, Inc. 代表。京都市出身。NYと京都を拠点に日本食のイベント企画や飲食店のプロデュース、食からの地域創生事業などを手がけている。



御子柴北斗

（株）まちづくり小浜取締役。長野県出身。農林水産省を辞め、小浜市へ移住。小浜で「鯖、復活」プロジェクトを立ち上げる等、観光客目線で若狭の魅力の発信に取り組む。

【日時】 令和2年2月28日（金）13:00～15:00 （※13:00に明通寺山門前にお越しください）

【場所】 明通寺客殿（福井県小浜市門前5-21）

【参加費】 500円（明通寺を拝観の後、シンポジウムを行います。）

【定員】 50名

【お問合せ／参加方法】

お電話又はメールでのご連絡か、facebook「松永六感 藤屋」イベントページで「参加」としてください。当日参加も可能ですが、あらかじめ参加のご連絡いただいた方には席をご用意します。

TEL：0770-57-1528

Mail：info@matsunagarokkan.com

